中1 社会 歴史 中世 一問一答（20問）　版Kの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 御家人が、戦いが起これば命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを何というか	奉公
(2) 武士の慣習をもとに、裁判の基準として定められた、最初の武家法を何というか	御成敗式目 （貞永式目 でも正解）
(3) 源頼朝の弟で、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼした人物はだれか	源義経
(4) 鎌倉幕府で、将軍を補佐する役職で、北条氏が代々ついて実権をにぎったものを何というか	執権
(5) 栄西が宋から伝えた、座禅によって自分の力でさとりを開こうとする禅宗を何というか	臨済宗
(6) 後鳥羽上皇の命令で、藤原定家らがまとめた和歌集を何というか	新古今和歌集
(7) 元からの服属の要求をこばみ、元寇のときに鎌倉幕府を指導した人物はだれか	北条時宗
(8) 平氏の栄えとほろびを描き、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物を何というか	平家物語
(9) 鎌倉幕府がほろんだあと、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか	建武の新政 （建武の親政 でも正解）
(10) 室町時代に、国内の武士を家来にして、国を自分の領地のように支配するようになった守護を何というか	守護大名
(11) 南北朝を統一し、明との間で勘合貿易を始めた室町幕府の3代将軍はだれか	足利義満
(12) 琉球王国が行った、日本や中国、東南アジアの国々の産物を仕入れて別の国に売る貿易を何というか	中継貿易
(13) 1428年に近江の運送業者が起こしたことをきっかけに、近畿地方に広がった一揆を何というか	正長の土一揆 （正長の徳政一揆 でも正解）
(14) 1467年に、将軍のあとつぎ問題などをめぐって有力な大名が対立し、京都を中心に11年間続いた戦乱を何というか	応仁の乱
(15) 15世紀後半からの戦乱の中で、実力で領国を支配し、独自の法などで治めた大名を何というか	戦国大名
(16) 室町時代に、商人や手工業者がつくった同業者の組合を何というか	座
(17) 観阿弥・世阿弥の親子が大成した、歌や舞を中心とした劇を何というか	能 （能楽 でも正解）
(18) 明にわたって絵を学び、日本の水墨画を大成した僧はだれか	雪舟
(19) 和歌の上の句と下の句を、何人かで次々によみつないでいく文芸を何というか	連歌
(20) 室町時代に、「一寸法師」や「浦島太郎」など、絵入りで民衆に親しまれた物語を何というか	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）